



2024年7月発行 VOL.123

なぴあ

公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌

日本文化体験教室
「着物の生地でかんざし作り」

2024年3月3日(日)に、長崎県国際交流協会で開催した
「着物の生地でかんざし作り」体験に9名の方が参加されました。

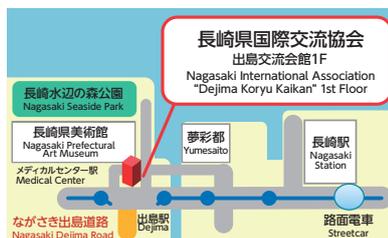


講師の森塚あきみさんから、かんざしが江戸時代に流行したこと、材料に用いた「着物の生地」には、季節に合った素材があり、色や柄ごとに込められた願いがあることなどを教えていただきました。参加者は、色や柄、質感の異なる着物生地を思い思いに選び、世界で一つだけのかんざしを作りました。



公益財団法人
長崎県国際交流協会
Nagasaki International Association

〒850-8062 長崎市出島町2番11号
TEL 095-823-3931/E-mail nia@nia.or.jp
[開館時間] 月～金曜日 9:00～17:30 ※祝日休館



公式 HP

Facebook



4月に着任された長崎県の国際交流員（CIR）※を紹介します！



はじめまして。韓国から参りました、
李 常夏と申します。「サンハ」と呼んで下さい！



はじめまして、どうぞよろしくお願いいたします。
李 康と申します。

Q1. ご出身は？

私は韓国の巨済島で生まれ、高校の頃から釜山に住みました。どちらも韓国の東南端に位置し、長崎と大変近いです。

巨済市は韓国で2番目に大きい島から成り、海金剛や外島など自然を満喫できるスポットが多いです。釜山はソウルに次ぐ韓国第2の都市で、テジクッパ（ご飯を入れた豚骨スープ）やミルミョン（小麦粉の麺料理）など、美味しい食べ物はもちろん、映画やスポーツも楽しめます。ぜひ足を運んでみて下さい！

Q2. なぜ日本へ？長崎で何をしてみたいですか？

日本に興味を持ったのは、アニメなどのコンテンツがきっかけでした。もともと人前で話すことは苦手でしたが、日本語のスピーチ大会への出場や通訳ボランティアなどを通して、新しい経験をしたり沢山の方に出会うようになりました。国際交流員には、これらの経験や日本への興味を活かした仕事がしたいと思い、応募しました。

滞在中は友好都市である釜山をはじめ、韓国との交流に貢献できたらと考えています。また、長崎を巡ったり、長崎弁を話せるようになりたいです。

Q3. 趣味や休日の過ごし方は？

家でゴロゴロしながら何かを読んだり、聴いたり、見たり、書いたり……とにかく何かしらのコンテンツを楽しむことが好きです。最近は韓国のアイドルが好きで、好きなアーティストの曲を「聴く」、チッケム（ライブ映像）を「見る」ことが多くなっています。

Q4. 長崎県民のみなさんへ一言お願いします！

これから長崎の魅力の一つずつ知っていくこと、両国の交流にかかわっていくことが楽しみです。
未熟者ですが、着実に頑張っていきたいと思っています。

出身は中国四川省東南部にある内江市です。内江市は四川省の穀倉地帯に位置し、サトウキビ栽培や製糖業で古くから栄えたことから「甜城（甘い都市）」の別名を持つ都市です。甘い都市と呼ばれていますが、地元の住民たちは辛い料理が好きです。

名物料理は鯉を金色まで揚げてから、泡椒や豆板醤などで作ったソースで煮つめた魚料理——大千干焼魚です。

長崎とのご縁は8年前に遡ります。中国の吉林大学で日本語を専攻していましたが、3年生の時、チャンスももらって長崎外国語大学に短期留学し、半年ほど暮らしました。ですから、派遣先が長崎県と聞いたときはよかったと思いました。

滞在中は、長崎県の魅力を体験すると同時に、県民の皆様といろいろお話しさせていただいて、草の根レベルで中日両国の相互理解を一層深められるように頑張りたいと思います。

趣味はバドミントンです。週に2、3回ほど取り組んでいます。休日にはよく旅行をします。今年のGWは、九州の福岡、沖縄と熊本を回りました。

今後いろいろなところに行って、日本各地の風習を体験してみたいです。

私は協会が主催する「CIRと話そう」で月1～2回出番があります。そのふれあいの場を通して、皆様と気軽に話し合えることを楽しみにしています。

長崎県の国際交流員3名が、『CIRと話そう!』でお待ちしています！

日時：水曜日 午後4:00～5:00
場所：長崎県国際交流協会
予約・参加費不要！ ※詳細はHPで



フィッシャー・
マーギュリートCIR

多文化共生講座「増える外国人住民への市役所・町役場の対応」

外国人相談者の言葉を「通訳するだけ」で済ませていませんか？



2024年3月14日に、長崎市町村会館で「増える外国人住民への市役所・町役場の対応」講座を開催しました。

講師に、(一財)自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー矢野花織さんをお迎えし、県内13市町から34名の職員の方が参加されました。

講座では、グループワークを通して、県内の在留外国人の現状や、日本の国際化政策の経緯などを学ぶとともに、他県の事例から、相談の解決には、相談員の対応の姿勢はもちろん、様々な専門機関に相談できるネットワークづくりなどが大切だということ学びました。

市町別で、在留外国人の国籍や在留資格の種類の割合がずいぶん違いますね。



留学生が多い町では、どんな相談が多いかな

講師は、外国人住民から相談を受けるときには、3つの壁を意識することが大切だといいます。

1つ目は「言葉の壁」、2つ目は「制度の壁」、最後に「文化・習慣の壁」です。

外国人住民の支援には、誰でも気づく「言葉の壁」への通訳対応だけでなく、意識しないと見過ごしがちな「制度や文化・習慣の壁」があることを頭に入れて、しっかり寄り添った支援をすることが大切だとお話されました。

事例学習

相談窓口で、日本人の夫を持つ外国人女性が「夫と離婚したい」とやってきました。

しかし、相談員は話を聞いているうちに、相談者が抱える本当の悩みに気づきます。どうやら相談者は「家族のなかで自分だけが日本語ができず、申し訳なさや孤独を感じている」ようでした。

そこで、相談者が通える日本語教室を紹介したところ、笑顔で帰っていきました。



全国の在留外国人数は約340万人*で、過去最多を更新! ※2023年12月末時点



長崎県では、

長崎県内の在留外国人数は約1万3千人*で、前年末に比べて約2,300人増加しました。このうち、「技能実習生」として在留される方が最も多いです。

2027年より、現行の「技能実習」から「育成就労」制度に移行する見通しで、実習を終えた後も日本に留まることが可能になります。私たちの周りでも外国人住民が増えるかもしれませんね。



17言語対応 「生活オリエンテーション動画」出入国管理庁作成

日本での生活上のルールや仕事、税金などについて、YouTubeで紹介



こちらのリンクから



(活用シーンの例)

- 日本入国前又は入国後に、日本での生活ルール等を知るために。
- 市役所の窓口などで、各種制度やルールについて説明が必要なときに、母語でお知らせするために。
- 技能実習生の方への入国前・入国後の講習、特定技能外国人の方への生活オリエンテーションを行う際の資料として。
- 外国人従業員を受け入れる会社・留学生を受け入れる教育機関で、日本での生活に必要な様々な手続を説明するために。



世界でキラリ★ JICA 海外協力隊

こんにちは

サラマ レーコン
Salam aleykoun
アラビア語

ボンジュール
Bonjour
フランス語

マヒセー
Maacisee
アファル語

ナバツ
Nabad
ソマリ語

～ 4 言語が日常的に使われる国、ジブチ共和国！～

大田 孝 (おおた たかし) さん

【2005 年 (平成 17 年) 1 次隊 ジブチ共和国 青少年活動】
世界中で活躍する JICA 海外協力隊。2005 年からジブチ共和国 (以下、ジブチ) で青少年活動隊員として活動され、再びジブチで活躍される大田さんにお話を聞きました！ 長崎で、あの「Ciel Nagasaki」を立ち上げられたのは？



面積 23,200km²(四国の約 1.3 倍)、人口 100.2 万人、首都ジブチ。
ジブチ共和国は世界一暑い国とされています。ソマリア沖・アデン湾の海賊被害に対応するため、2011 年に自衛隊初の海外拠点が開所されました。



2005 年にジブチに派遣されて以来、長崎に戻ってからも、ガボン、ガーナ、ブルキナファソなど、いろいろなアフリカの国々と縁を紡いできました。2021 年からは再びジブチで JICA の専門家として勤務しています。今回は、私が週末に取り組んでいる 2 つのボランティア活動についてご紹介します。

女性の収入向上への支援

最初に派遣されたジブチでは、洋裁学校の生徒に刺繍のための絵をアドバイスしました。次の派遣先のガボンでも、アフリカ布製品の販売促進を通じて、女性の収入向上を支援しました。このような経緯から、帰国後も、仲間と服飾雑貨店「Ciel Nagasaki」を立ち上げ、現地で買いつけたアフリカ布を用いた商品作りを始め、販路拡大に取り組んできました。再びジブチで勤務し始めてしばらくしたある日、スーパーの駐車場で雑貨を売る女性と目が合いました。その瞬間、洋裁学校で私の生徒だったカルトンさんとわかり、再会を喜びました。話が盛り上がり、去年の夏に長崎の百貨店で開催した展示販売会に「カルトン・ジブチ」ブランドとして、スカートを出品してもらいました。その後、この販売会の収益でロックミシンを寄付しましたが、それにより商品の仕上がりは向上し、今では複数の布を組み合わせた服や鞆作りが進んでいます。



カルトンさんとの再会

バドミントン連盟への技術支援

そもそも一度目のジブチでの派遣活動としては、学生時代の競技経験を活かしてバドミントンの指導を中心にするつもりでした。しかし、当時この競技に関心を持つジブチ人は少なく、挫折感と共に帰国したのでした。それから 17 年後、偶然知り合った方が「ジブチバドミントン連盟会長」だったことを機に、毎週土曜日に中学校で指導するようになりました。長崎の皆さんから寄っていただいたラケット等を、Ciel Nagasaki の収益から送料を捻出して、生徒に届けることもできました。まだ基礎訓練が中心ですが、2026 年にセネガルのダカールで開催されるユースオリンピックに、選手を送り出すことが今の目標です。



長崎県から届いたラケットを手にする生徒たち

派遣活動を通して、途上国で自分の経験を役立てることができ、そこでの経験や出会いが自分自身の生き方に、広がりや深みをもたらしてくれました。JICA 海外ボランティアに参加することは、多くの人々に貢献できるとともに、成長と学びの機会でもあります。ぜひ皆さんも飛び出してみませんか。

国際理解講座「中国ってどんな国？—中国文化と日常を覗いてみよう」



2024年6月6日に佐々町地域交流センターで、佐々町教育委員会が主催する国際理解講座「中国ってどんな国？」が開催され、佐々町にお住いの25名が参加されました。講師の長崎県国際交流員の李康さんが、中国の食文化や日常生活の様子などをわかりやすく紹介されました。

□中国は、アジア大陸の東に位置する広大な国で、世界一の人口を有しており、アメリカに次ぐ経済大国でもあります。また、56の民族から構成される多民族国家であり、34の省級行政区画（省、自治区、直轄市、特別行政区）が採用されています。

□日本でも人気がある「中華料理」には、様々な種類があり、「中国八大菜系（魯、粵、川、湘、浙、蘇、徽、閩）」に分けられ、地域ごとに特色があります。

□中国の伝統的な行事のうち、三大節句は、日本でも馴染みの「春節（旧正月）」、「中秋節（十五夜、中秋の名月）」、そして「端午節」です。「端午節」で開催される賽龍舟（ドラゴンボートレース）は、長崎のペーロンの元祖なんですよ。

□日常生活では、日本の「PayPay」のように店頭で支払用のQRコードを読み込む、キャッシュレス電子決済「アリペイ」、「ウィチャットペイ」がどこでも使用できます。中国の「出前」も非常に便利で、調理済みの食べ物だけでなく、食材やペットボトル飲料など何でも届けてくれます。

□広場がダンスをする人々で賑わったり、スーパーでは野菜や肉が「量り売り」されている様子は日本の方にとっては驚きを伴う光景かもしれません。朝食は日本よりも種類が豊富で、外食することが普通です。健康のため、白湯（水を沸かしたお湯）を飲む習慣もあります。

□中国ではおすすめの観光地もたくさんありますので、ぜひ足を運んでみてください！



参加者アンケートでは、「中国は近いけれど、あまり知らなかった」「中国の日常生活や文化がよく分かった」「若い先生がお話されて、民間交流の大切さを実感した」などのご感想がありました。

📍 外国の文化を知りたい！外国の方と一緒に〇〇をしたい！お気軽にご相談ください！

当協会では、県民の皆様が主催される交流学習会や講座などに、県内在住の外国人や国際理解教育に携わる人々を講師として派遣しております。

業務支援ボランティア（日本人）を募集しています！※外国人の方とペアになっていただきます。

長崎県国際交流協会では、受付・来客対応、新聞のコピーや広報誌の整理、発送のお手伝いなどをしてくださる方を募集しています。

トライアルも設けていますので、体験して判断いただいても大丈夫です。

毎週火曜日 午後1:00～午後4:00（祝日はお休み）



協会からのお知らせ

令和6年度助成金事業の申請団体を追加募集中！

当協会では、長崎県内の民間団体が行う多文化共生や国際交流等を支援するため**助成金事業を実施**しています。皆さまのご応募をお待ちしております。

国際交流スタート支援事業 国際交流事業等を初めて行う民間団体



詳細は
こちら
から

支援 ▶ イベントや講座の企画・運営をサポート
対象経費100%補助（上限10万円）

草の根国際交流支援事業 国際交流の経験がある民間団体 多文化共生に取り組みたい企業



支援 ▶ 多文化共生 対象経費 100%補助(上限10万円)
国際交流・理解 対象経費 50%補助(上限10万円)

「外国人お助けガイドブック」英語 中国語 韓国語 ベトナム語

当協会では、県内在住の外国人の方に役立つガイドブックを作成し、**無料配布**しています。ご希望の方は、当協会までご連絡ください。



スマホでも
閲覧でき
ます

■ながさき生活ガイドブック

長崎での生活の基本情報、在留資格に関すること、市役所・役場でできること、日本でのルールやマナー

■病院に行く時につかう本

外国人の方が病院に行く時に必要な情報（病院の探し方、持ちもの、病気の伝え方、問診表）



■知っておこう！災害が起こるその前に！

災害が起こるその前に！備えるための1冊。
（避難する場所や持ちもの、台風・地震・火事での行動）

長崎県外国人相談窓口 長崎県に住む外国人の皆様が、安全・安心に生活できるよう**22言語で相談に対応**します。

【相談できる日時】

月曜日～土曜日 午前9:00～午後5:00
※日曜日、祝日、12/29～1/3は休み

【相談する方法】

- 窓 □ 長崎県国際交流協会内
長崎市出島町2-11
- 電話 095-820-3377
- メール soudan@nia.or.jp

在留資格、医療、子育て、生活習慣などで困っていること

第26回ながさき国際協力・交流フェスティバル

県内在住の外国人と県民が一緒になって楽しめる楽しい催しが盛りだくさん！
皆さん、ぜひ遊びに来てください！

- 【日時】2024年9月15日（日）午前11:00～午後2:00
- 【会場】長崎県庁1階（長崎市尾上町3-1）
- 【内容】県内の国際協力・交流団体等の活動展示、フェアトレード製品の販売、外国語の体験、和楽器体験、民族衣装の試着、着物・茶道体験他



第16回外国人による日本語弁論大会出場者大募集！～外国人から見た日本・平和・国際交流～

- 【日時】2024年10月19日（土）午後1:30～午後4:00
- 【会場】国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 地下2階 交流ラウンジ
- 【賞金】最優秀賞 5万円、第2位 3万円、第3位 2万円、未来賞 1万円、参加賞
- 【締切】令和6年8月26日（月）必着
外国人による日本語弁論大会係

詳細はこちらから
ご確認ください



外国人支援事業を応援して下さる賛助会員を募集しています！

賛助会員として長崎在住外国人を応援しています！

安達株式会社 扇精光ホールディングス株式会社
ヤナセ産業株式会社 長崎県青果移出商業協同組合
東興産業株式会社

年会費 個人会員：3,000円

法人会員：10,000円

※詳しくは、長崎県国際交流協会までお問合せください。